

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや  
ちくさ  
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号  
井上ビル4F D号  
Tel 763-5110  
会長 竹内真三

No.23 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を

Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

## 第67回例会 昭和58年12月6日(火)晴

◇ “君が代” “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 52(51)名 出席 36名  
出席率 70.59%

◇ 前回 11月29日(修正出席率) 98.04%  
make up

秋山君(12/3守山), 古川君(12/5中), 浜口君  
(12/3守山), 橋本君(11/24東南), 林君(12/3  
守山), 菊池君(11/25北), 黒野君(12/3守  
山), 成田君(11/30和合), 鈴木(猛)君(11/26  
守山), 谷口君(11/30名北)

◇ 誕生日祝福

林夫人(12/4), 宮尾君(12/10)

◇ ニコボックス

瑞浪RC服部君(貴クラブの菅原さんより  
良い本を頂きました), 水野(民)君(星ヶ丘  
スポーツP&Sのオープンのお礼のよこ  
こび), 古川君(映画“アイコ16才”米行き成功  
にあたり), 永井君(第13回ゴルフ会で優勝い  
たしました), 成田君(ホームクラブ御無沙汰  
しました), 浜口君(ナゴヤ地下街サンロード  
の募金運動が無事終了しました), 秋山君(ホ  
ームクラブ御無沙汰しました), 林君(父の告  
別式, 無事終了しました), 宮尾君(誕生祝)

◇ 谷口副幹事報告

1. 本日例会終了後, 年次総会を行いますの  
で全会員そのままお残り下さい。
2. 次週例会は12月14日(水), 年末家族会  
ですので13日(火)の例会はございません, お  
間違いのないようお願いします。
3. ロータリーの友12月号が届いております  
のでお持ち帰り下さい。

◇ 林君挨拶

過日, 父の葬儀に際しまして会員の皆様に  
数々の御厚情を賜わり厚く御礼申しあげま  
す。ありがとうございました。

◇ 準米山功労者紹介

古川 勝巳 君

◇ 竹内会長挨拶

夏目漱石の小篇に『夢十夜』というのがあり  
ます。その中に, 夢の中で鎌倉期の運慶と  
満慶の話が出て参ります。夢の中ですから描  
写は曖昧ですが, 兎に角運慶が鑿を振って盛  
んに木を刻んでいる。何とも乱暴で無思慮の  
如くで且つ無造作に鑿を振っている。すると  
アラ不思議, 忽ちに仁王の忿怒形相が出来上  
ってしまつた。「大したもんですね, 予め頭  
の中に構想があつて素材の木材の処理にも何  
か独自の秘伝でもあるのですか?」と運慶に  
質問します。すると運慶は事もなげに答えま  
す。『何大した事じゃありません。実は  
この仁王は偶々この材木の中に埋つてい  
るんです。埋んでるもんですから余分な材木を  
鑿で削つてるだけでサア』漱石は感心  
して「そんなものかなあ」と思つて手近な木  
材を選んで自分なりに切つたり刻んだりして  
みたが全部木屑が出来るばかりで, 仁王は現  
われなかつた……というところで目が醒める  
という筋であつたと思います。読んだ当座は  
それ程にも思いませんでしたが, 最近しきり  
にこの寓話を思い出すのです。

ここ暫く前, 郷土出身の荻須高徳画伯の件  
で名古屋市では色々と事件がありました。  
Ogissの好意での寄贈の絵画は結局, 出身地  
の稲沢で美術館を造つて展示されることとな  
りました。その稲沢へ納まる前の懐古展のよ  
うなものが某百貨店で行われたので私も見て  
きましたが, 相当なレベルに達した絵ばかり  
のように私には思えました。しかしながら,  
今から数年前に佐伯裕三の展覧会が博物館で  
ありましたが, その時の感激とはいささか趣  
きを異にしていました。佐伯の作品から受け  
た強烈なインパクトと理屈抜きで絵とはこれ  
なんだといった私の身内から出る躍動感とか

興奮は、思わずまわりの人に語りかけたい衝動に駆られる程でした。

一方の Ogiss は只今80才余、筆力未だ衰えず、不純物の混らぬその世界は大変なものだと私は感じています、残念なことに佐伯から受けたあの強烈なる『感動と亢奮』が私にはありませんでした。相性の問題もありましたが、80年の研鑽も30年余の成果の与える感動に及ばぬとしたら、絵画とか美術というものはい体何だろうと考え込んでしまうのです。それで冒頭の運慶の寓話が私には何か大きな意味をもって迫るのです。変らない美しさ、感動の美術は天与のものではないだろうか。偶々夫々の画家にしろ彫師にしろその手を経るだけの話であって、研鑽に研鑽を積んでも、又人間の能力の集積のみでは猶、追求し得ぬ領分があるのではないかとさえ神秘的に思えてくるのです。

美術の世界における年功の空しさ、研鑽の彼方にある何物か、しかもその作品たるや何時までも残って評価に耐えねばならぬ酷しさ等々を考えますと、華やかにみえる芸術の裏の重さ、芸術家の切迫した立場、又絶望と展開の繰り返し等々、筆舌に尽くせぬ大変な世界だなあと思わずにおれません。それだけに私はその人々に対し尊敬と渴仰の念で一杯なのであります。

#### ◆講演

“わが製版家業について”

会員 原 富士雄 君



私は創業昭和9年の(株)陽光堂を親父から3年程前にバトンタッチした二代目です。

写真製版とは新聞、雑誌、広告等に印刷される原版のことをいいます。

古くは江戸時代の瓦版に始まり、その種類も凸版、凹版、平版と印刷方式により異なります。私の会社ではフレキソ写真製版といって、やわらかなゴム、樹脂等の材料を使用し、主に凸版のものを製版しております。それはプラスチックをやわらかくした写真のフィルムのようなもので、感光性樹脂凸版といわれております。製版方法はまず商品に見合ったデザインを作成し、それをカラー分解して製版カメラで撮影します。それぞれ分解した色別毎にフィルムを作成し、製版機にかけて出来上ります。工程上まず重要なのはデザインの作成段階の問題です。ユーザーのニーズに答えるデザインを作るまで様々な曲折を経て決定されるわけですから一番時間を要するのです。従って優秀なデザイナーが多数必要となりますから、人材の確保と養成に力を入れております。製版機はマイコン等を装備した便利な機械が導入され、生産能力は上がりましたが、製品の納期が非常に短く、間違いや遅れ等絶対に許されません。多種小量の受注生産ですから生産

管理上、いかにスムーズに運営するかが今後の課題となっています。

“ニューヨークの大晦日”

会員 堀江 宏輝 君



ニューヨークの大晦日には、一番の繁華街、タイムズ・スクエアに晩になりますと大勢の若者達が集まります。ホワイト、ブラック、イエロー、さまざまの人種。若いニューヨーカーを始め、日本

の商社マン、スチュワーデス、勿論観光客も集まります。一年中昼も夜も消えることのないタイムズ・スクエアの灯。しかし大晦日の11時59分から午前0時までの1分間は消えます。この1分間は印象的です。そこに集まった若者達がお互いに手に手つないで一つの大きな輪をつくります。午前0時、新年の幕開けを告げる大きな鐘の音。真暗闇だったタイムズ・スクエアの灯が一斉に灯ります。再び真昼のようなまばゆさ、明るさに戻ります。その時そこに集まった若者達から怒涛のような声が沸き立ちます。“HAPPY NEW YEAR!” 大きなパワーとなって新しい年の門出を祝います。一面識もない若者達が世界のあちこちから集まり心を一つにして新しい年の到来を祝福するのです。そこには人種差別も言葉の障壁もなく世界はひとつに溶け合います。大晦日の印象は強烈に私の心に残っています。

#### —第13回ゴルフ会成績—

(12/2(金)、三好西C.C.にて)

R	NAME	I	O	G	H	NET
優勝	永井 正義	42	41	83	14	69
2位	橋本 義郎	51	45	96	23	73
3位	谷口 暢宏	49	42	91	15	76
4位	加藤 大豊	53	50	103	26	77
5位	松居 敬二	46	41	87	9	78
B. B.	秋山 茂則	48	56	104	16	88

今回は来年1月26日(木)、多治見C.C.にて行います。申し込みはお早目に。(幹事・松居)

#### ◆次回例会 (12月14日) (水)

年末家族会の為、講演はございません。

#### ◆次々回例会 (12月20日)

講演 “私の仕事(設計事務所の近況)”

会員 松藤 国弘 君

講演 “卒業アルバムの製作について”

会員 永井 正義 君

(おことわり) 年次総会の報告は次号に掲載いたします。